

2005年度 第2回 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録<確定稿>

開催日時：2005年5月10日（火） 午後7時15分～9時15分
開催場所：西東京ボランティア・市民活動センター活動室
出席委員：熊田博喜、坂口和隆、瀧島喜重、安岡厚子、山下恭子
<以上5名、敬称略、あいうえお順>
欠席委員：阿部靖子、飯塚 睦
<以上2名、敬称略、あいうえお順>
事務局：齊藤地域福祉課長、飯塚主事、今林コーディネーター、平田コーディネーター
丸木

配布資料

資料 1：西東京ボランティア・市民活動センター事業月次報告
資料 2：コーディネート状況等月次報告
資料 3：西東京ボランティア・市民活動センター予定表（5月）
資料 4：海外ボランティア市民活動現場体験活動計画案
資料 5：夏！体験ボランティア西東京2005 受け入れについて
資料 6：夏！体験ボランティア西東京2005 スケジュール（案）
資料 7：2005年度第1回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録<未定稿>
資料 8：2004年度西東京ボランティア・市民活動センター事業報告書（案）
資料 9：2004年度ボランティア・市民活動推進事業経理区分決算書（案）
資料 10：2005年度新規登録ボランティア数の目標値の設定について（案）
<その他当日追加資料>
活動拠点についてのニーズ調査～NPOの現状と今後の課題
お出かけ情報地図（西東京市バリアフリーマップ）
中高年からの介護予防読本

委員長：それでは、第2回運営委員会を開催する。最初に事務局より資料の説明をしてほしい。

事務局より、配布資料の説明がある。

1. 報 告 事 項

(1).西東京ボランティア・市民活動センター業務報告について

事務局より、資料1、2、3に基づき4月の業務および5月の予定について報告があった後、質疑が行われる。

委員長：西東京青年会議所の5周年記念大会では参加者は何人くらいいたのか。

委員：300人くらいの参加者がいた。

委員長：西東京市NPO法人連絡会の役員改選の状況はどうであったのか。

事務局：代表にセプロスの浜氏、副代表にそよかぜの小板橋氏、会計にたま市民葬コラボの有馬氏が選出された。また、事務局として、生活企画ジェフリーの渡邊氏が担当することになった。会則により役員任期は2年間となっている。

他に質問なく、次の報告事項に移る。

(2).韓国果川市自願奉仕センター（ボランティアセンター）との交流について

事務局より資料4に基づき果川市ボランティアセンターとの交流を実現するための調整の進捗状況について報告の後、質疑がある。

事務局：当初、姉妹関係を結びたいという希望があったが、このことについてはもう少し段階を踏んでから検討をしたいということと、先方が提示してきた交流の計画案の規模を縮小して実現に向けて協議したいということを伝えている。

委員：果川市から来る人たちは、どのようなボランティア活動を行っている人たちなのか。

事務局：来日するメンバーについては、現段階ではわからない。

委員：以前、韓国と台湾の方を受け入れたことがある。当団体の今までの活動の説明をして、現場での活動を見てもらった。高齢者関係の市民活動を体験したいということであれば協力する。

事務局：武蔵野大学の学生さんとのディスカッションなどは企画できないか。

委員：どういう人が来日するのかにもよる。市民活動の経験が長く、知識も豊富な人たちばかりだと、学生とのディスカッションは難しいのではないかと思う。平日に来日するということは、年配の方たちが多く、経験豊かな人が多いのではないかと推測する。

委員長：姉妹関係を結ぶということになれば、こちらから果川市へ行くということもあるのではないか。

委員：今回の交流で、当運営委員会の委員が動くことは難しいと思う。

委員長：果川市ボランティアセンターの職員と他にボランティア2～3人で来てもらって、最初はこちらの様子を見てもらってはどうか。

事務局：最初にご報告したように、規模を縮小するように調整中である。

他に質問、意見なく、次の報告事項に移る。

(3).『夏体験ボランティア西東京2005』の実施について

事務局より資料5、6に基づき、夏！体験ボランティア西東京2005事業の取り組み状況について説明の後、質疑を行う。

事務局：参加者が増えるような魅力的な活動内容を用意していきたいと考えている。現在、約40くらいの団体、施設から受け入れるとの回答を得ている。今年のこの企画への参加者が加入するボランティア保険は、いくつか検討を要する点もあったが、Bプランとした。6月24日から7月9日までを参加者の受付期間とし、6月上旬から様々な媒体を使って広報をしていきたいと考えている。9月16日には受け入れ側の交流会を実施する予定である。

委員：説明の中で、昨年はこの事業の参加者数が減ったことが課題であるということであったが、今年はどうな対応を検討しているのか。

事務局：昨年参加者が減少したことの原因として、参加費の額をあげたこと、ある中学校が独自に取り組むようになったこと、PRが不足していたことが考えられる。これらの中で本当に減った原因がどこにあるのかを探る必要があることから、今年も参加費の額を昨年同様としたうえで、PRを強化していくことを考えている。

委員長：今年度の参加者数の目標値をどのように考えているか。

事務局：一昨年度の参加者数を一つの目標としているので、300人と考えている。

委員長：参加者へのフォローはしているのか。

事務局：参加者に対して、この事業終了後の個別的なフォローは現在していない。

委員長：参加者へのアンケートは実施してほしい。参加者募集のPRは学校の朝礼でアピールするなどの方法もあるのではないか。

事務局：参加者に対するアンケートは実施している。

委員：昨年の参加者へ案内をすることも参加者を増やすには効果的ではないか。

他に質問、意見なく、次の報告事項に移る。

(4). ボランティアのつどいの実施について

事務局より実行委員会が開催されたこと、その内容についての説明、報告がある。

事務局：4月22日に2004年度のボランティアのつどいを実施した実行委員会が開催され、2005年度のボランティアのつどいについても、実行委員会を組織して実施をしていくということが確認されたので報告する。

質問なく次の報告事項に移る。

(5). 災害時の対応のシステムづくりについて

事務局より、委員会立ち上げに向けての進捗状況の報告がある。

事務局：委員就任の依頼状況とその結果についてだが、登録ボランティアの方に依頼したところ快く引き受けていただいた。新潟県中越地震の際の支援経験者で市内在住の方は残念ながら断られてしまった。また西東京市防災課職員については現在依頼中で、引き受けていただけるかどうかの結果はまだ出ていない。

委員長：以前から打診をしていた方については連絡が取れる状況になったので、あらためて連絡をとりたい。

委員長：それでは、断られた委員に替わる人の依頼も含めて、専門委員会の設置に向けての事務作業は事務局にまかせたい。

専門委員会設置に向けての事務作業を事務局にまかせることを確認した。

2. 審 議 事 項

(1). 2005年度第1回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録について

委員：副委員長としての発言をしているわけではないので、「副委員長」を「委員」という表記にしたほうがよいのではないか。

委員長：事務局で特に問題がないのであれば表記を改めてもよいのではないか。

事務局：このことで何か支障があるとは思えないで、問題ないと思う。

指摘のあった「副委員長」の表記を「委員」に訂正することを全員一致で承認し、議事録を修正することとした。

(2). 2004年度西東京ボランティア・市民活動センター事業報告について

事務局より、資料8に基づき2004年度の各事業について説明、報告がある。

委員長：市民活動団体・NPO実務研修において、広域圏での取り組みは行わないのか。

事務局：すでに行っている。近隣市、区のNPO法人に対して、ダイレクトメールで案内したり、その地区のボランティアセンターを通してチラシを配布して、参加者の募集を行った。

委員：ファーストステップ講座の参加者が少ないが、これでよしとしているのか。

事務局：会場をこの活動室で行っており、また目的も知識や技術伝達のためのものだけでなく、参加者同士、あるいは講師と参加者の交流も含めて実施しているので、大人数の参加を想定して実施している講座ではない。

委員：私は以前このファーストステップ講座の講師となったが、12人くらいの参加者がちょうど

よいと感じた。

委員長：ファーストステップ講座では、テーマを福祉関係の分野だけではなく、行われている市民活動の幅広い分野での設定をしてはどうか。

委員：いくつかのアンケート調査を行っているが、その回収率はどうか。

事務局：夏！体験ボランティアでは、実施後に個別に郵送、ファックスなどで回収する方法をであったため、回収率は悪かったが、他のアンケートでは、講座終了日に実施しているので、回収率は100%に近い。

委員長：異議がなければ、案のとおり2004年度事業報告を承認してよいか。

他に質問、意見、異議なく全員一致で2004年度の事業について承認される。

(3). 2004年度西東京ボランティア・市民活動センター決算について

事務局より、資料9に基づき2004年度の決算について説明がある。

委員長：収入と支出のそれぞれの合計額が同じ数字となっているが、経理上、差を出さないという方法をとっているのか。

事務局：そのとおりである。

委員長：他に質問、異議がなければ、案のとおり2004年度決算を承認してよいか。

他に質問、意見、異議なく全員一致で2004年度の事業について承認される。

(4). 2005年度新規登録ボランティア数の目標値の設定について

事務局より資料10に基づき説明、提案する。

委員長：前年比10%増を目標とするということであるが、登録者を増やすということと同時に、登録した人を離さないでつなぎとめておくという働きかけも必要である。

委員長：他に意見がなければ、事務局案のとおり承認してよいか。

全員一致で、新規登録者数の目標値を前年比10%とすることについて事務局案が承認される。

以上をもって、2005年度第2回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会の協議を終了し、散会する。